

平成27年度包括外部監査結果に対する対応状況・方針等

番号	区分	監査テーマ	項目	担当部局	担当課・室	監査結果	対応状況・方針等		
							28年度報告内容	29年度報告内容	30年度状況
1	意見	愛媛県の策定する諸計画及び許認可とそれらに関連する事務について	愛媛県子ども読書活動推進計画の成果を表す指標の追加について	教育委員会	社会教育課	愛媛県子ども読書活動推進計画に示された主な課題には、公立図書館における児童書の貸出冊数など4つの項目を挙げているが、このうち地域や学校などで読み聞かせ活動等を行うボランティアについては、課題としているにもかかわらず、計画の数値目標として示した8つの指標には含まれていない。 当計画の重点事項としてボランティアとの連携を掲げていることから、学校における読書活動ボランティアの導入実績を成果を測る指標に追加することについて、検討が望まれる。	現在の愛媛県子ども読書活動推進計画の期間が平成30年度までであるため、次期改定に当たり、学校における読書活動ボランティアの導入に関する数値を指標に追加することを検討する。	現在の愛媛県子ども読書活動推進計画の期間が平成30年度までであるため、次期計画(平成31年度～)では指標の追加を検討する。 あわせて検討が必要となるデータの収集などの準備を進める。	学校でのボランティア導入を促進するためには、ボランティア人材の育成と学校・地域等の連携が重要であり、高齢化等により減少傾向にあるボランティアの後継者となるべき人材を育成し、活躍できる場を積極的に提供できる環境を整えることが必要であると考え、第四次計画(平成31年3月策定)では重点事項を「ボランティアとの連携」から「ボランティアの育成と活用」に改めた。 指標については、監査結果を踏まえて、ボランティアに関する指標を追加することとし、新たに「ボランティア養成講座を定期的実施している公立図書館の割合」を追加した。
2	意見	愛媛県の策定する諸計画及び許認可とそれらに関連する事務について	愛媛県子ども読書活動推進計画における目標設定について	教育委員会	社会教育課	愛媛県子ども読書活動推進計画の数値目標のうち、県内公立図書館の設置率100%という目標は、公立図書館のない市町にとっては相当の財政負担が伴うことから、全ての市町で達成することは難しいと考えられる。 そのような地域であっても、県は、県立図書館職員が訪問して実態を把握し、県立図書館の図書の一括貸出や相互貸借などの支援制度を紹介し、全ての県民が図書館サービスを利用できる体制をとっているとのことである。 居住する市町に図書館が無くても、県の体制で相当な事業効果が得られるのであれば、目標を「公立図書館サービスの利用可能市町」とするなどの検討が望まれる。	県立図書館では、相互貸借、協力図書、遠隔地返却サービスなどにより県内市町図書館等を支援している。また、図書館未設置町へ出向き出張貸出等を行うことで読書環境整備の機運を高め、広く県民に図書館サービスが提供できるよう努めているところであるが、各地域での子どもの読書活動推進のためには公立図書館が全ての市町に設置されることが望ましい。現在の愛媛県子ども読書活動推進計画期間の5年間(平成26年～平成30年)においては、100%達成は非常に困難であるため、次期計画(平成31年～)では各市町の現況を把握及び分析の上、目標を「公立図書館サービスの利用可能市町」とするなど検討する。	県立図書館では、相互貸借、協力図書、遠隔地返却サービスなどにより県内市町図書館等を支援している。また、図書館未設置町へ出向き出張貸出等を行うことで読書環境整備の機運を高め、広く県民に図書館サービスが提供できるよう努めているところであるが、各地域での子どもの読書活動推進のためには公立図書館が全ての市町に設置されることが望ましい。しかしながら、市町の財政事情等から、現在の愛媛県子ども読書活動推進計画期間でも県内公立図書館の設置率100%という目標は現実的に達成困難となっていることを踏まえ、次期計画(平成31年度～)の中で指標の変更を検討するため、市町の現状の把握及び分析を進めている。	監査結果を踏まえて、第四次計画(平成31年3月策定)では、「県内公立図書館の設置率」を「公立図書館サービスの利用可能な市町数」に変更した。

番号	区分	監査 テーマ	項目	担当 部局	担当 課・室	監査結果	対応状況・方針等		
							28年度報告内容	29年度報告内容	30年度状況
3	意見	愛媛県の策定する諸計画及び許認可とそれらに関連する事務について	愛媛県子ども読書活動推進計画における達成困難な目標の取り扱いについて	教育委員会	社会教育課	愛媛県子ども読書活動推進計画は県全体を対象とすることから、各市町の計画策定を目標とすることに合理性はあるが、将来的にも達成が困難な市町もあるため、現況の分析と対応について計画に盛り込むことが望まれる。	市町における子ども読書活動計画の策定は順調に進んでおり、将来的に策定困難な市町があるとは考えていないが、平成31年度からの次期愛媛県子ども読書活動推進計画の改定に当たり、市町の計画策定の状況及び策定できていない市町のフォローなど対応について検討する。	市町における子ども読書活動推進計画の策定率は平成29年度末までに85% (17市町) となる見込みで、策定率は順調に伸びている。次期計画(平成31年度～)では、未策定の市町への重点的なフォローなどの対応を盛り込むことを検討する。	市町子ども読書推進計画の策定率は順調に進んでいることに加え、未策定の市町のほとんどが現在策定作業中であり、今後も策定率は伸びる見込みであるため、将来的に策定困難な市町があるとは考えていないが、第四次計画(平成31年3月策定)では現状分析及び未策定市町へのフォローについて記載した。